

地方創生を推進するICTとは —クラウドをベースとした生活直結サービスの活用—

株式会社セールスフォース・ドットコム
取締役社長兼COO
川原 均

地方のポテンシャルを引き出すテレワークを支援する仕組み作り

【チャレンジ】

- 地方で活躍する人口を増やすためには医療、教育、支援コミュニティ、行政サービスなどの生活に直結したサービスの整備が必要
- 地方で事業を行うためにテレワークは有効。それを推進するために労務管理、セキュリティ、業務サポート等の事務機能の簡易な提供が必要
- テレワークを支援する仕組み（ICT）を各市町村で個別で構築、運用するのはワークロード、スキル、コストともに負担大
- ICTアレルギーの払拭が必要

【課題解決のために】

- テレワークと生活直結サービスを円滑にかつ速やかにスタートするためにクラウドサービスの活用
- 各地方自治体、クラウドサービスベンダーがユーザー視点で簡単にサービスを構築、提供してそれを全国でReuse、Recycleし、コストをReduceするべき
- クラウドアプリケーションを提供するベンダー及び利用者がスムーズに利用開始し、継続的に活用できるよう1.経済効果を明確に、2.これを後押しする支援体制、3.将来的な自走化のデザインが必要

まち・ひと・しごとを支援するための ICT/クラウドサービスの事例

ひと

少子化対策
遠隔医療システム
コミュニティ
プッシュ型行政情報

世田谷区
(せたがや子育て応援アプリ)



地域の活性化
地域見守りサービス
観光情報ポータル
防災・減災情報サービス
Wifiの整備



関ヶ原町(観光ナビ)
静岡県(FUJISAN)

子育て環境の充実
遠隔医療サービス
遠隔教育サービス
コミュニティ
プッシュ型行政情報サービス

総務省(先導的教育システム実証)



まち

テレワークに
関連

医療・介護の充実
地域医療連携
在宅介護支援
遠隔医療サービス
救急医療サービス
プッシュ型行政サービス



岩手県立岩井病院(医療連携)
奈良県(e-MACH救急医療)

行政サービスの充実
市民ポータル
ワンストップサービス
プッシュ型行政情報
サービス



山梨県小菅村
千葉市(ちばレポ)

生活直結サービス
X
テレワーク



新規雇用の創出
ジョブマッチング
地域雇用情報DB
スキルワーカーDB
コミュニティ

大阪府(OSAKAしごとフィールド)

テレワークシステム
勤怠管理
勤務工数管理
評価管理
社内SNS
モバイル端末

*企業規模、職種等
によって選択

神山町テレワーク(SanSan)

地域産業の活性化
業務サポートシステム
ビジネスマッチング
雇用促進
専門家マッチング
海外進出支援
コミュニティ

中小企業庁(ミラサポ)



超高齢化社会対応
地域見守りサービス
お薬手帳
在宅医療・介護サービス
ウェアラブル
健康ポイントサービス
コミュニティ



須恵町(要援護者支援)
会津美里町(あいづじげん健康ポイント倶楽部)

農産物の活性化
情報・ノウハウ共有
Web販売
業務サポートシステム
コミュニティ



佐賀県
つくばアグリチャレンジ

しごと

仕事環境向上

生活直結サービスクラウド事例

行政サービス

山梨県北都留郡小菅村 臨時福祉給付金システム

- 2009年 定額給付金システムを甲府市向けに作成
- 2014年 消費税増税に伴う臨時福祉給付金システムの新しいテンプレートを作成 (Reuse)
- 山梨県北都留郡小菅村がカスタマイズして活用 (Recycle)
- 1ヶ月で導入、大幅なコスト削減 (Reduce)
- 11市町村がテンプレートを活用してクラウド上でシステムを導入 (Reuse)



生活直結サービスクラウド事例 在宅介護支援

患者様を中心としてまるで一つの病院にいるような
在宅介護ケアを医師・看護師の方々のコラボレーションで実現

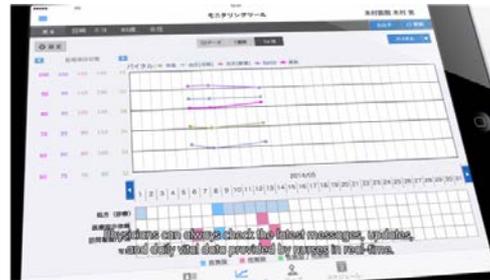
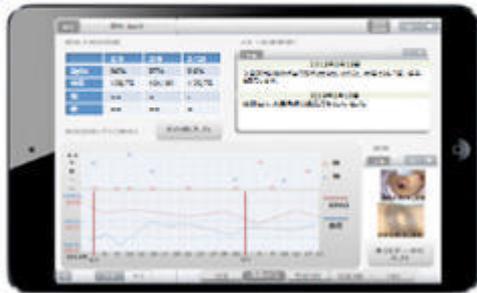
岩手県立磐井病院



東京西小山はるリニック (Reuse)

infomity

コ
ニ
カ
ミ
ノ
ル
タ



高齢者となる社会が進む中で、従来の外来型の診療から、往診による在宅業務にシフト。

看護師からの申し送り事項やバイタル情報を医師がリアルタイムに把握可能に。効率的かつ的確な処置に繋がられる。

要件定義2カ月の後、開発は1ヶ月で実装。

テレワークを活用する時に重要な勤怠管理をクラウドソリューションでサービス提供した事例

テレワークに適した労務管理を提供

チームスピリットは簡単にダウンロード出来、直ぐに利用可能

徳島県神山町のSanSan社でも活用中

既に300社でクラウド上で活用されている

提供サービス

- 勤怠管理
- 就労管理
- 経費精算
- プロジェクト工数管理
- 活動報告
- 稟議申請

日付	勤務状況	申請	出社	退社	工数	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
8/1	金	+	9:00	19:00	+															
2	土	+																		
3	日	+																		
4	月	+	9:00	18:00	+															
5	火	+	9:00	18:00	+															
6	水	+	8:00	18:00	+															
7	木	+	9:00	18:00	+															
8	金	+	9:00	18:00	+															
9	土	+																		
10	日	+																		
11	月	+	11:00	20:00	+															
12	火	+	9:00	18:30	+															
13	水		2014年08月次サマリー																	
14	木		所定出勤日数		20日	法定時間内残業		00:00	有休取得日数		2日	[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
15	金		実出勤日数		0日	法定時間外残業		5:30	時間単位有休取得時間		0:00	[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
16	土		法定休日出勤日数		0日	法定休日労働時間		0:00	深夜労働時間		4:30	[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
17	日		所定休日出勤日数		0日	法定時間外割増		0:00	60時間を超える時間外労働		0:00	[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
			所定労働時間		160:00	45時間を超える時間外労働		0:00	60時間を超える時間外労働		0:00	[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
			総労働時間 (有休を含む)		0:00	遅刻回数・時間 (控除対象)		0回 0:00 (0:00)	有休残日数(8/25時点)		8日	[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
			実労働時間 (有休を含めない)		0:00	早退回数・時間 (控除対象)		0回 0:00 (0:00)	2014年10月度以降の計画付与予定日		0日	[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
			当年度の超過時間		23:30	遅刻回数・時間 (控除対象)		0回 0:00 (0:00)				[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
			当四半期の超過時間		5:30	早退回数・時間 (控除対象)		0回 0:00 (0:00)				[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
			当年度の超過回数		0回	安全配慮上の超過時間		0:00				[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	
			安全配慮上の超過時間		0:00	勤務時間内の私用外出		8回 0:00				[内訳]		----	----	[内訳]		----	----	



地方創生クラウド基盤を活用し、生活直結サービスを提供するための提言

- 地方のポテンシャルを引き出すテレワークを支援する仕組みとして地方創生クラウド基盤の上で生活密着型サービスを提供する
- 自治体の特性にあわせた業務サービスをモデル市町村で構築し実証実験を行う
- 実証実験にあたってはReuse,Recycle,Reduceすることを前提に地方創生クラウド基盤上で業務サービスを構築する
- 実証に参加いただく各市町村及びクラウドサービスプログラムを開発する地場企業の支援体制を作る
- ドアオープナーと全国展開できる支援体制の構築と自走化デザインの構築

